議題等	発言者	内容・決定・報告事項
		では、定刻となりましたので、ただ今より、平成29年第3回農業委員会総会を始めさせていただきます。
	会長	あいさつをする。
	局長	本日は、傍聴人の方がお見えでございますので、よろしくお願ひいたします。 なお、傍聴人に申し上げます。お手元の「傍聴人心得」を良くお読みいただき、傍聴くださいますよう、よろしくお願ひいたします。
	局長	現在の出席委員は18名でございます。 農業委員会会議規則に基づきまして、古武会長に議長をお願ひいたします。
午前9時9分 開会	議長	現在出席委員18名であり定足数に達しておりますので、これより第3回総会を開会いたします。
議事録署名委員 の指名	議長	議事録署名委員に井上委員、小野田委員の両委員を指名いたします。
日程第1 議案第6号 農地法第5条の規定による許可申請に対する進達の意見について	議長	日程第1 議案第6号 農地法第5条の規定による許可申請に対する進達の意見について を議題といたします。 事務局から、内容説明をいたさせます。
	事務局	議案第6号 農地法第5条の規定による許可申請に対する進達の意見につきまして、ご説明いたします。今回案件は2件でございます。総会資料の2ページをご覧ください。 番号1につきましては、譲受人が、譲渡人の土地に使用貸借権を設定し、工事用地(一時転用)として転用するための申請です。 譲受人につきましては、建設業を営んでおり、携帯電話の基地局を設置するにあたり、申請地を工事ヤードとして一時的に工事期間中使用するため、今回の申請がなされたものです。 申請地の農地区分につきましては、10ha以上の集団農地に含まれるため、第1種農地と判断されます。
	事務局	番号2につきましては、譲受人が、譲渡人から売買により所有権を移転し、住宅敷として転用するための申請です。 譲受人につきましては、現在、市外の賃貸住宅にて生活しておりますが、現在の住まいが手狭であり、両親の住むところの近くに住宅を建築したいと考えたことから、今回、申請がなされたものです。 申請地の農地区分につきましては、甲種、第1種、第3種農地のいずれの要件にも該当しない農地という理由から、第2種農地と判断されます。
	議長	説明が終了しました。これより番号1から2の現地確認の報告を各委員にお願ひいたします。

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	関山委員	<p>番号1について、現地確認を行った。 現地参考案内図の1ページをご覧ください。 申請地は東北自動車道の北側。案内図には出ていないが、後ろは久喜市北青柳であり、野牛土地改良区内である。公道より10.3mほど奥に位置するが、住宅用地ではないので接道の問題はない。 地権者によれば、今回の一時転用は、携帯電話の基地局を設置するために、申請地を一時的に資材置き場として利用するためとのことである。 また、今回の一時転用を許可することによる地域の環境、衛生には影響がないものと考えられる。 このようなことから総合的に考え、転用についてはやむを得ないものと判断したが、皆様の審議をお願いしたい。</p>
	渡辺委員	<p>番号2について、17日に現地確認を行った。 申請地は、10ha以上の集団農地とは認められなかった。 また、周辺はすでに宅地等として利用されており、今後、市街地として発展する可能性が高い場所である。 現地参考案内図の2ページをご覧ください。 申請地の面積は153m²であり、これは元々一筆だった土地の半分を公共事業のために市役所に譲ったため、この面積になっていると地権者から伺った。次回、隣接した土地と合わせて233m²で申請し、住宅を建てる予定とのこと。 また、申請地は現在農地として利用されており違反等はない。 したがって、この案件について、転用理由や付近の状況から、転用についてはやむを得ないものと判断したが、皆様の審議をお願いしたい。</p>
	議長	<p>報告が終了しました。これよりご意見・ご質疑等をお伺いします。ご意見・ご質疑等ございましたらお願いいたします。</p>
	江口委員	<p>1番について、先ほどの説明の中で携帯電話の基地局を設置するため、一時的に資材置き場することだったが、将来、携帯電話の基地局を設置するには配置等でつじつまが合わないように感じるがいかがか。基地局はどこに設置されるか。</p>
	事務局	<p>今回の申請地は非常に大きい面積の土地。携帯基地局の予定地についても、同じ筆で計画されている。案内図の斜線のところは、1,000m²を超えるが、その一部が工事ヤードとして利用される。また、基地局の設置場所も同じ筆なので、全て斜線の地番で完結する。</p>
	事務局	<p>補足説明する。案内図斜線部分は、携帯基地局が含まれる場所となる。基地局と工事ヤードは隣接している。 なお、携帯電話の基地局は農地法上、農地の転用に許可が不要な案件になっているため、今回の申請の許可が下りた後、基地局設置の届け出をした上で、工事をすすめる。工事ヤードと基地局は同じ筆であるが、土地がかぶっているわけではない。</p>

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	江口委員	一般的に、工事場所が確定して、材料置き場が決まると思うのだが、順番が逆の気がする。将来、同じ場所で基地局を設置か。
	事務局	基地局の話は確認できているが、許可案件ではなく、届出であるため、審議等で説明の機会がない。工事ヤードの申請は、基地局を設置する前提で受けている。基地局は、いわば鉄塔で、面積は5m×5m程度のもの。議案等に出てくる手続きは無いのでわかりづらいものであるが、同時に進めている状況である。
	小野田委員	2番について、隣接した土地の申請を後に回さず、今回でまとめて233m ² として申請される形ではどうか。また、地域がら、300m ² 以上でないと住宅地としては問題があるかと思うがいかがか。
	事務局	申請者には、小野田委員の質問と同じように、2筆で建てられないか質問した。回答されたのが、敷地面積300m ² 以上と、開発の要件があるが、2筆合計が300m ² 未満のため、開発見込みがなくなるとのことであった。事務局としても市建築課に確認したところ、開発許可における開発敷地面積の基準を定めた平成15年6月1日以前に、既に300m ² 以下の面積である場合や公共買収で面積が小さくなった場合であれば、300m ² 未満でも開発許可の見込みはあるとの回答をいただいている。
	小野田委員	公共用地に供された場合等、300m ² 以下でも許可になるという理解で良いのか。
	事務局	そのとおりである。
	岩上委員	番号1であるが、アンテナについては農地法に触れる部分はないのか。
	事務局	皆様には、農地を農地以外にする転用として許可が必要であり、農地法の4条、5条と審議いただいているところであるが、法律の中で、許可が不要な場合を定めており、携帯基地局は許可不要として規定されている。携帯基地局は許可不要であるが、それを設置するために資材を置く場所や駐車場などについては、許可が必要。今回のように、恒久的に使用するものでなく、一時的な使用であれば、集団農地でも農地法上は問題ない。補足であるが、携帯基地局は、認可されている業者だけが建てられるが、そのことを県が確認の上、基地局設置の届出の手続きを行っているので、許可不要となる案件であることは確認できている。
	小野田委員	番号2であるが、特例措置として300m ² 未満でも受けられるとのことであるが、申請においては隣地も同時に受けるべと思うがいかがか。

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	事務局	農業委員会の申請においては、2筆で申請いただきたいところであるが、他法令で許可が見込めることも審査基準の1つとなっており、2筆合わせての申請とした場合は、開発の見込みがなくなってしまうため、今回1筆で申請せざるをえなかったものである。
	小野田委員	私は、農業委員と言う観点ではなく、固定資産税を宅地としてきちんと収めていただくという別の目的があり質問したところである。農業委員会としてより良い方法で措置を講じられるよう事務局で進めていただければよいと思っている。
	井上委員	番号2については、隣地の申請が後程提出されるということか。
	事務局	申請は1筆なので、追加で転用申請がされるかは不明である。
	井上委員	建てられないことは無いと思うが、今回の1筆の153㎡で建てるということか。
	事務局	そのとおりである。
	井上委員	先程の、説明では、今回の申請の後に申請して一緒に建物を建てると聞いたので、説明がわからないので質問した。
	事務局	最初の相談の時に、隣地も合わせた2筆で申請しないのかを指摘したが、先程説明した通り、2筆を合わせての申請では開発の見込みがないが、1筆であれば見込みがあると、建築課で言われたとのことで、1筆で建築すると申請があったものである。
	井上委員	公共に提供した残りが153㎡なので、それであれば300㎡以下でも住宅が建てられると言うことで申請を受けたが、隣地を加えてしまうと、特例が適用されないと言うことで、153㎡で申請をしたということか。
	事務局	その通りである。
	井上委員	理解できた。
	渡邊委員	事務局の説明のとおりである。許可が下りたら隣地も申請すると聞いている。
	事務局	事務局へは申請後の方針についての話はない。
	井上委員	では、隣地が新たに申請された場合は、300㎡以下で、公共用地等の特例が外れるので、開発見込みが無くなると思うが。要するに、後から申請して結果2筆に建てることのできるのであれば、初めから合わせて申請すれば良い。分ける必要はないのではないかと言いたい。

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	事務局	開発の話では、あくまでも今回の土地のみ見込みがあり、隣地を含んでの見込みは無いと聞いている。仮にこの方が隣地も必要となったときには、建築が全て終了した後に、敷地拡張をしたい等の希望があり、新た申請として提出されれば、相談に応じられる。建物も建てていないのに敷地拡張の申請をするということとはできない状況にある。
	井上委員	了解した。
	小野田委員	事務局の説明は概ね了解できるが、農業委員会の申請云々ではなく、宅地面積が広くなれば、固定資産税のが市に入る。建物を建てた後でも追加で申請し、宅地課税とすることができるのか、行政で指導できるのかを改めて聞きたい。
	事務局	あくまでも見込みであるが、あると思う。県許可のものであるので、確定とは言えないが、「見込み」としては可能性はあると考えている。
	議長	学校や病院など、農業委員会の許可なく建てられるものもあった。鉄塔など、今も許可不要なものがあることが理解できたと思う。以上質問はないか。
	渡辺委員	今回に申請地のみではスペースが足りず、住宅を建てたあとに敷地の拡張を行うことは無理だと思われる。
	事務局	建物が、どの敷地にかかるかは開発の方での話になる。申請では1筆で収まるとのことで受けている。もし、隣地にはみ出て建築すると、農地法違反と言うことになり、隣地の転用は、違反が解消されない限り転用申請を受けられない。事務局では、きちんとやっていただく前提で話を進めてるので、もし、申請通りにする予定はないと耳にしているのであれば、「大変なことになる」とお伝えいただきたい。あくまでも、1つの地番で収まるとのことなので、それを前提としたもので判断しているものである。
	井上委員	お聞きしたい。
	議長	まだ聞きたいことがあるか。
	井上委員	そのような言い方では、委員としてやる意味がなくなる。
	議長	議会でも質問は3回で打ち切っているので、同じように考える必要がある。
	井上委員	議長の一存で決めるのか。
	議長	私が決めるのではないが、同じ質問を繰り返さないよう、質疑を上手に進めてもらわないと困るということである。

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	井上委員	しっかりとした回答が無いから何度も聞くことになる。
	議長	過去、宅地は200㎡だった。私も議会では、もう少し必要ではないかななどを議論してきた。ようやく300㎡で落ち着いた。農地の有効利用を考えると、300㎡はやむを得ない。議会で活用を考えていただかないと、農業委員会は権限が無い。上がってきた事案に対し、限られた要件の中で、精一杯議論し、違反を指導するしかない。それぞれの立場を理解して議論いただきたい。事務局から再度説明願いたい。
	事務局	再度説明する。今回家を建てるとして相談があったのはこの申請地のみ。渡邊委員の聞き取りのように隣地にはみ出してしまえば、開発等にも引っかかってしまい、こちらの申請も問題となる。この申請地のみで建てるとの申請であるため、それ以上のことについては審査できないのが現状である。仮に今後、隣地を申請したいとなった場合は、その都度必要性等を審査することになる。隣地に対する仮定の話はできない状況である。
	議長	申請が出ていないので、仮定の話はできないことを理解していただきたい。
	渡邊委員	今回の申請地のみではスペースが足りず、許可が下りたら隣地も申請して、2筆を利用して建てると言っていた。不動産屋からそのようにできると聞いたとのことである。申請者がそのように考えているのなら、伝えないといけませんが、1筆では足りないと思う。
	議長	難しい話であるから、申請と違う話を聞いたのであれば、届け出た者に申し出てもらうようにした方がよい。農業委員会は、申請されたところ以外は、情報提供はできても、審議する権利も指導もできない。一所懸命やっただけは助かるが、判断が難しい問題は、事務局に確認したほうが良い。事務局長いかがか。
	事務局長	今回の申請は、この153㎡に家を建てるということで申請が上がっていることが事実である。そちらについては審議いただく。今後、新たに申請があった場合に、改めて審議いただくので、ここでは結論をだせないということになる。
	江口委員	我々は、今回は面積が、300から500㎡の範囲とのルールで認識している。今回の申請は、範囲から外れているので、認められないということになるのではないかとと思うがいかがか。
	事務局	今回の申請地で住宅を建てることについては、これまで説明した通り、市の取り扱いの基準により、問題ないものである。

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	事務局	この土地の南側は、踏切の拡幅をしたところを公共買収とした。結局、公共買収があった場合は、300㎡未満であったとしても、開発で家を建てることができるという規定があるので、今回の案件については、300㎡未満であるが許可ができるということ、農業委員会も審議にあげさせていただいたものである。
	江口委員	了解した。
	議長	お諮りします。本案については、地区担当農業委員からの報告、転用理由、申請地が含まれる区域の農地性及び地域農業との調和を図りつつ効率利用できるものと判断し、転用はやむを得ないものと認め、許可相当の意見を付して県へ進達することでご異議ございませんか。
		[異議なしという声あり]
	議長	異議なしと認めます。よって議案第6号については、原案のとおり決定します。
午前9時50分 議事終了	議長	以上をもちまして、議事を終了いたします。
	議長	引き続き協議報告会を開催いたします。
農地法第5条第1 項第6号の転用 届出に関する専 決処分について	議長	協議報告事項1、農地法第5条第1項第6号の規定による転用届出に対する専決処分について を事務局から説明をいたさせます。
	事務局	協議報告事項1 農地法第5条第1項第6号の転用届出に関する専決処分について でございますが、今回、報告は2件でございます。番号1から2につきましては、分譲住宅敷のための転用です。
	議長	説明が終了いたしました。これよりご意見・ご質疑等お伺いします。ご意見・ご質疑等ございましたらお願いいたします。
協議報告事項2そ の他について	議長	質疑もないようですので、協議報告事項2 その他 に移ります。事務局から内容説明をいたさせます。
	事務局	○農地パトロール結果報告書の提出について 提出がお済みでない方は、総会後に提出をお願いします。
	事務局	○税務課からの調査について ・配布した資料のとおり税務課から調査の依頼が来ているので、ご協力をお願いします。
	事務局	○農業委員会の適正な事務実施に係る点検・評価(案)及び活動計画(案)について 来月総会にて審議となります。(例年は3月総会にて審議し、4月の農事委員会議で回覧をお願いしておりましたが、4月総会後にインターネット等での公表がなされるため、4月総会で審議となります。)

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	事務局	<p>○来月の農地改良現地パトロールについて 3/26の週は岩上委員グループ、 4/2の週は小野田委員のグループ、 4/9の週は白石委員のグループ、 4/16の週は大高委員のグループ、 4/23の週は荒井委員のグループです。 それぞれの区域の担当者の方は、総会后などにおきまして、日程調整をお願いいたします。</p>
	事務局	<p>○来月総会 4月24日(月)午前9時 議事録署名委員の井上委員、小野田委員の両委員は来月印鑑をお願いします。</p>
	議長	<p>説明が終了いたしました。これよりご意見・ご質疑等お伺いします。ご意見・ご質疑等ございましたらお願いいたします。</p>
	小野田委員	<p>1つ提案したいことがある。 遊休地の野焼きについて、各個人や農業委員のみに任せるのではなく、農業委員会として対策を行えないだろうか。 野焼きを行う、あるいは行えるという判断を各個人や農業委員に任せるのは難しい場合がある。農業委員会が組織として、場合によっては消防等に協力を仰ぎながらこれを行うならば、住民としても安心である。 また、遊休地にて野焼きを行い、場を綺麗にしたところ、それを見たかたが新たに農業を始めた実例もある。</p>
	事務局	<p>以前、小野田委員さんから相談があった。実際に庁舎から野焼きの様子が見えた。野焼き後、借りても良いとの話になったとのありがたい話も聞いた。少し前、野焼きの事故のニュースもあったので、その辺を考慮しながら、消防等の手続きなどを適切に行って、地域の方が実施いただくものであれば問題ないと思っている。それで不耕作が解消するのであれば、むしろ、農業委員会の立場から考えると良い方法と思っている。心配なのは、農業委員さんが前面に出てしまって、事故等になった時に、責任や負担が農業委員さんについてしまっては心苦しい。農業委員さんがきっかけづくりをしていただき、地域の方が一緒に盛り上げて実施していただくのは非常に良い形だと思うので、そのように進めることができれば、消防に事前に情報提供する等、できる部分で対応させていただきたいと思っている。</p>
	小野田委員	<p>できれば、各委員と言うより、農業委員会として、各地域ごとに農業委員さんと一緒に実施できると良いと思う。委員個人では、火に強い方弱い方がいるので難しいと思う。委員会として、消防等の配備をし、周りの状況を判断して、体制を整えて実施すれば、まわりから見ても安心していただける。また、委員会が自ら対応する姿勢も見てもらうことができる。現状で、水路に囲まれ、燃やすのに安全な場所として、庁舎南側や、南中西側付近が考えられる。個人ではなく、行政組織の中での活動としたいと考えている。</p>
	事務局	<p>役所として対応することが、実際どうであるか、環境課に相談させていただきたい。法律の中で、野焼きは基本的に禁止になっていて、特例として農業関係の野焼きは認められてはいるが、行政の立場で、大々的に実施することはどうなのかを確認したい。環境課で問題ないとのことであれば、方針を検討したい。効果があるので事務局としても、良いものと思っているが、環境課と同じ行政の立場であるので確認したい。確認が済み次第、早ければ来月にでも総会にて報告でよいか。</p>

議題等	発言者	内容・決定・報告事項
	小野田委員	役所のそれぞれの立場もあると思うが、燃やすタイミングがある。固く考えないで実施したい。地権者が分からない遊休地の判断など、農業委員会の判断で進められるなら良いと思う。現実として、遊休地対策は誰もがなんとかしなくてはいけないと思っている。それができれば、農業委員会にとっても、環境課にとっても良い。対応は事務局にまかせる。
	議長	良い提案であると思う。野焼き等の対応は環境課であるので、農業委員会から環境課に申し入れをして、事故等がおきると大変なので、環境課に動いていただくと良いと私は思うが、事務局に検討していただきたいと思う。
	江口委員	良いことだと思うが、心配事もでてくる。このような話は周りに広がり、「私も」となると、かなり広がってしまうので、対応策について並行して慎重に検討していく必要があると思う。
	議長	内容説明が終了いたしました。全体を通しましてご意見・ご質疑等ございませんか。
午前10時10分 総会終了	議長	質疑もないようなので、以上をもちまして、本日の総会を閉会といたします。